

（報告）

ア 令和3年度全国学力・学習状況調査「浜松市の結果（概要）」について

※指導課長から資料に基づき説明

（安田委員）2ページの③のICTを活用した学習状況に関する調査結果は、ICT教育推進校とそうでない学校の数値の開きに驚いている。端末の整備状況による部分が大いという説明があったが、端末の整備が進めば上段の数値は確実に上がると考えてよいか。

（指導課長）その通りと考える。指導課でもICTの活用については訪問等で指導しており、ICTはツールであるとの認識から、活用機会が増えれば上がる数値と思われる。

（安田委員）ICT教育推進校は、学校が希望してなったのか。

（指導課長）昨年度募集をかけ、1月から3ヶ月間、授業や不登校児童生徒への活用等で検証してもらった。

（安田委員）希望した学校は、希望するだけあって、校内で指導ができる環境が整っているのだと思う。環境が整っていない学校との差がこれからも続いてはいけない。情報化推進リーダーや管理職にきちんと数値をフィードバックしてもらい、皆で意識を高めてほしい。もちろん全部の学校の数値が上がればそれはよいことだが、ICTの数値が低くても他で自慢できる良さがあればそれでいいのではないかと思う。それくらいの度量を教育委員会には持っていてほしい。

（田中委員）1ページの①の「家で自分で計画を立てて勉強している」という部分が、我が子を見ている保護者として心配だと思う。塾や学校で与えられたものをこなすことに精一杯になっていて、計画的に勉強することがあまりできていない気がする。この数値を上げるためにはどのような指導が考えられるか。

（指導課長）従来国語科では、漢字の習得方法として、書き取り帳にひたすら書くことを繰り返してきたが、日常生活の中で漢字を使うということを考えると、家庭学習においても、例えば既習漢字を用いて文章を書く練習をしたり、ひらがなで書かれた文章を既習漢字に直す問題を解かせる等、家庭学習を変えていく働きかけをしている。算数科等では、授業で学習した考えを活かしながら自分の力で復習ができるような家庭学習も進めたい。家庭を含めた形の学びのサイクルを作っていけるよう、学校にも指導していきたいと考えている。

(田中委員) ③でICTを活用した学習効果については分かった。逆に、この学習のためにICTをどうやって活用するかという視点があっても良いのではないかと思った。例えば、スマートフォンにスケジュール管理の機能があるが、もしGoogleでも同様の機能があれば、子供達に学習計画を立てさせ、ゲーム感覚でクリアさせていくといった活用はどうか。ICTを活用する上で、そのような視点もぜひ取り入れていただきたい。

(黒柳委員) 私も1ページの①の「家で自分で計画を立てて勉強している」の感想だが、昨年度より若干上回ったと聞き、改善が図られているのかなと思った。我が子を見ているも部活動との両立もあり、夏休み中も苦勞していた。ここは繰り返しの指導が大事なのではないだろうか。この数値が上がれば「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」や「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」という部分も自ずと上がっていくのではないかなと思う。自主的に取組めない、すぐに諦めてしまうというのが今の子供達によくある姿だと思うため、部活動を頑張りながらも勉強も頑張るというように、目標を掲げてそれに向かって取組むことが大事なのではないかと思う。

(神谷委員) 学力調査の結果で、中学生の方がポイントが下がるのはなぜか。勉強が難しくなるからか、勉強についていけなくなる子が増えてくるからだろうか。我が子を見ているも、小学生のうちは出された宿題をこなしているだけで、計画するほどでもなさそうだったが、中学生になると、宿題は大したことはないが3日後の授業の予習をする等、明日よりさらに先のことを見通して家庭学習を行わなければならないようだ。自分が中学生の頃に、国語の授業で和歌の勉強をするから2週間分の勉強内容を自分で決めなさいと言われたことがあるが、学校である程度、計画の立て方や進め方を指導しないとなかなか数値は上がってこないのではないか。自分で計画を立てて実行するということは、仕事をする面でも役立つことなので、早めにできたほうが良いと思う。また、コロナ禍で、コミュニケーション能力を高めたり、新しいことへのチャレンジが充分できない大学生活を送った学生が来年就職することを心配している。大学生に限らず小中学生でも、怯えてチャレンジできなったり、家に籠りがちになってしまったりしている子供達を見ると、何でもかんでも中止するのではなく、やれることはやってあげたいと思う。

(指導課長) 学校教育目標や学校の経営方針に基づいて教育活動を展開する中で、子供達の計画力を育んだり、仲間と意見を交わす場面はあると思う。総合的な学習の時間やキャリア教育に関する指導の時間等を使い、自分で計画を立ててそれに向かって課題を解決していくような場面と適切に組み合わせたいと思う。

イ 令和3年度全国・東海中学校総合体育大会結果について

※指導課長から資料に基づき説明

(黒柳委員) 昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で大会等がことごとく中止になったため、今年度は実施できうれしく思う。今回のみの結果で終わるのではなく、今後の励みにしてもらいたい。

(神谷委員) 文化系の部活動の結果は別途報告があるのか。

(指導課長) 文化系の大会は秋の開催が多いため、あらためて報告する。

ウ 令和3年度浜松市立高等学校の部活動の状況について

※市立高等学校長から資料に基づき説明

(神谷委員) NHK杯全国放送コンテストのテレビドキュメント部門で優勝したとのことだが、どのような内容だったのか。

(市立高等学校長) 部活動の在り方においてプラス面マイナス面の視点を切り口に、自分達の部活動の在り方を考えるというような内容だった。

エ 美術館の事業について

※美術館長から資料に基づき説明

(意見無し)